

平成二十七年年度修士論文・卒業論文題目

◎修士論文

古典文学教材としての『一寸法師』研究 菅本啓

芥川龍之介「トロッコ」教材論―「語り」に注目した

授業実践を通して― 田代勝豊

◎卒業論文

現代俳句における「取り合わせ」の効果

―坪内稔典作品を中心に― 蒲生遼

グリム童話絵本「赤ずきん」における「残酷性」の変化

佐々木峻

「新美南吉作品における子ども物語」論 大畑賢

後鳥羽院歌の研究―『百人一首』を巡って― 寺戸愛

北京大学蔵西漢竹書『老子』研究―釈読を中心に―

中村成美

中原中也『在りし日の歌』

～亡き児との関連性について～ 増田亜美

森見登美彦『「新釈」走れメロス他四篇』論

松岡大元

現代日本語における接尾辞「さん」の研究 森脇裕史

教材「絵仏師良秀」考

―「地獄変」との関連性を中心に― 諸田拓磨

白川静氏の文字学を応用した漢字教育 吉富一步

論文募集

『国語教育論叢』第二十七号の原稿を募集します。

一、内容：国語学、国文学、漢文学、書道・書写の研究。

国語教育に関する理論及び実践の研究。

一、枚数：四〇〇字詰原稿用紙四〇枚程度。

一、投稿締切：平成二十九年十月末日

なお、論文の掲載については、編集委員会にご一任願います。

宛先：松江市西川津町一〇六〇

(千六九〇―八五〇四)

島根大学教育学部言語文化教育講座内

『国語教育論叢』編集委員会